



キャンプ利用状況 (8月1日現在)



○ 宿泊利用者数 延べ 420 名 *7/31 宿泊分までの累計

- ・ 7 月 6 日にオープンした「かわいキャンプ」も、協力団体さんや利用ボランティアさんのご協力もあって、全国的にも知名度がアップするにつれて、利用者さんの申込みも増えてきております。北海道から沖縄まで、全国各地から引き合いをいただいております。8 月には外国の方もお見えになる予定です。
- ・ 市内、県内にお住まい方も、自家用車・バスをかわいキャンプまで利用し、日帰りで被災地のボランティア活動ができますので、キャンプまでご相談ください。

■ 盛岡さんさ踊りの観覧 ■

- きょうの夜、ボランティア活動の合間を利用し、かわいキャンプのボランティアさん（略称「かわボラさん」）15 名（予定）の方々が、盛岡さんさ踊りの観覧にやってきます。盛岡の短い夏の熱いまつりを堪能され、日頃の疲れを癒していただきたいと思います。
- たったの希望もあって、女性 1 名限定で浴衣の準備をしております。盛岡市社協の職員が着付けのサービスもします。こちらの方もぜひお楽しみに！



■ 山の珍客 !? 訪問 ■

- きょう、オリエンテーションの始まる直前に、キャンプ玄関前の庇の屋根の上に潜んでいるニホンザルを発見。下界の賑やかさに誘われて急峻な裏山から紛れ込んだきたのでしょうか。スタッフもボランティアさんも、カメラの準備に大騒ぎしている間に、歯を剥き出して威嚇しながら屋根伝いに裏山へ退散しました。キャンプの周りには普通に出没するとのことでした。



盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000

盛岡市かわいキャンプ 0193-76-2005



キャンプ利用状況(7月18日現在)



○ 宿泊利用者数 延べ 453 名 *7/17 宿泊分までの累計

- ・ 8 月に入り、かわいキャンプは、協力団体さんや利用ボランティアさん、マスコミさんの情報発信のご協力もあって、利用の予約や問い合わせも増え、その対応でキャンプのスタッフも充実した日々を送っています。
- ・ 8 月 6 日からは、連日、復興支援ボランティアバスの団体さんの利用が予定されております。

■ 宮古市仮設住宅でのサロン活動支援 ■

- 7 月 29 日から、宮古市災害ボランティアセンターの要請で、仮設住宅の集会室で行われるサロン活動の支援のため、かわいキャンプのボランティアさん(略称「かわボラさん」)を派遣しています。
- 今後、仮設住宅に入居されておられる方々に寄り添い、見守りする活動が大切となってきます。キャンプでは、かわボラさんのご協力と、盛岡市社協のサロン専門スタッフとのコラボで、継続して取り組んでいきたいと思っています。

■ オランダ島とのゆかりで ■

- 8 月 1 日から、オランダの方が单身キャンプに滞在し、山田町での瓦礫撤去活動に出かけられています。日本のオランダ大使館 浮かぶオランダ島(大島)のゆかり があるとのこと。  に勤務していた頃に、山田湾に で山田町に 2 度訪問されたこと
- また、キャンプのオープン当初にオランダ本国から申込みをされた 強い思いを寄せています。
- 1643 年(江戸時代)、この島にオランダ船が漂着し、住民が船員を 救助したことが島の名前の由来で、2000 年からオランダのザイスト市と姉妹都市としての 交流が続いています。



キャンプ利用状況 (8月5日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 563 名 *8/4 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
30	69	35	40	70	81	47	42	42	40

・キャンプでは、お盆中もボランティアさんの受入れを行います。ただし、この期間中、ボランティアセンターでは、宮古市は一部開業、山田町は全面休業します。

■ 仮設サロン、カブトムシ子供たちに好評！ ■

- 8月4日、宮古市磯鶏地区の仮設住宅で行われた仮設サロンで子供たちにカブトムシやクワガタムシをプレゼントし、ワガタムシは、キャンプなので、今回はこれまでに捕
- キャンプでは、かわボラさんめています。かわボラさんめています。



喜ばれました。このカブトムシやクワガタムシに誘われて飛び込んできたもまえた 10 匹を持参したものです。んにも呼び掛けて、カブトムシを集から寄贈された虫籠で大事に飼っ

■ 「かわいキャンプ友の会」結成 !! ■

- 8月4日夕刻、横浜の網島温泉・東京園で、キャンプオープン当初のメンバーを中心に、8 名が集まって「かわいキャンプつながりで集まろう会」が開かれました。
- この会は、神奈川のえふうさん(handle name)が、約 1 カ月間キャンプで活動された D さん(三重)の慰労と、ボランティア活動等を通じ、人と人と、被災地と自分たちの繋がりをもっと広く深くしたいとの目的で呼び掛けを行い実現したものです。キャンプ並みの豪華料理(?) とボランティア魂をつまみに遅くまで盛り上がったとのこと。
- えふうさんは、全国各地での「集まろう会」の開催をご提言しています。詳しくは、ブログ「えふうの徒然なるままに」を。



リポートかわいキャンプ

2011. 8.10
第 12 号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (8月10日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 815 名 *8/9 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
88	52	45	45	44	42	77	81	34	52

連携する沿岸ボランティアセンターは、お盆中(8/13~8/16)、受入れ態勢に変更がありますので、注意が必要です。

- 宮古市 休業。ただし、被災地から収集した写真・アルバムの公開・返却受付(宮古市総合福祉センター)に各 5 名のニーズ
- 山田町 全面休業
- 大槌町 13 日~15 日は、毎日 200 名を限度に受入れ。16 日は通常営業。写真展示・返却は各 5 名のニーズ。

日赤さんから生活家電等が続々届く

- キャンプには、日本赤十字社さんか
ます。少しでも、かわボラさんの生
るため、キャンプの要請に应运いて
います。

- ・コンテナシャワー増設 2 基(8/12
- ・乾燥機付洗濯機 2 台 ・地デジ対応
台 ・プロジェクター(スクリーン
*後日予定 ・フライテント 3 張



ら生活家電等が続々と届いてい
活環境等を整えて活動を支援す
たきました。ありがとうございました

完成予定) *既設と併せて 5 基
テレビ 2 台 ・掃除機 3 台 ・冷蔵庫 2
付) 1 台
り ・AED 3 台 ・救急セット 6 セット

豆記者キャンプを取材

- 8 月 9 日夕方、キャンプに宮古
3 年旭ちゃんの姉妹豆記者が
ち」というテーマで取材にやっ
ィアに宮古をえらんでくれたの
光に來たいと思いますか」など
ら帰って食事の準備中の「かわ
生懸命答えていました。



- 夏休みの自由研究に、宮古の支
ィアさん 100 名を取材し、発表したいということでした。

市の小学校 6 年佐藤 光 ちゃん、
「宮古をたすけてくれる人た
てきました。「なぜ、ボランテ
ですか」「宮古が復興したら観
7 項目にわたる質問に、活動か
ボラさん」は、緊張しながら一

援のために活動するボランテ

盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000

盛岡市かわいキャンプ 0193-76-2005



キャンプ利用状況 (8月11日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 905 名 *8/10 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
53	43	43	43	42	75	79	32	50	47

旧盆入りの8/13に限っては、宮古市総合福祉センターと大槌小学校での写真公開・展示、返却受付、(大槌町)菜の花プロジェクト草取り等の活動ですが、活動者さんの数がニーズを超えているため、内勤ボランティアや休養の日に当てていただくこととなります。

■ 震災から5ヵ月 ■

- 東日本大震災からきょうで5ヵ月。県内で亡くなられた方は4,632人、未だ行方の分からない方は2,045人となっています。被災された方々は、避難所から仮設住宅等への生活に移るなど、復興に向けて懸命に努力されております。
- きょうの活動は、お盆を前にお寺さんの墓地の清掃・整地作業です。大槌町内最大の檀家さんを持つお寺さんで、震災による津波と火災で建物は全壊し、お墓も倒壊するなど大きな被害を受けました。かわぼうさんは、他のボランティアさんと共に、10日から12日まで3日間連続で、炎天下この作業に取り組んでいます。
- きょうから宮古と大槌で、家族等の写真やアルバムの公開・展示会、返却が始まりました。

■ かわいキャンプの立看板設置 ■

- 全国から来所するボランティアさんに、キャンプの場所をもっと分かりやすくするために、盛岡市さんに立看板を設置していただきました。キャンプへの進入路に気づかずに通り過ぎる心配も少なくなると思います。
- 白地に鮮やかな青で「盛岡市かわいキャンプ」と描かれ、国道の上下線からよく見える場所(公衆電話ボックス側)に置かれています。



盛岡方面から

リポートかわいキャンプ

2011. 8.14
第 14 号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (8月14日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 1,046 名 *8/13 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
52	55	82	82	35	54	53	25	37	85

8/14 はお盆中にもかかわらず、活動される方が 42 名。全員が個人で参加しているボランティアさんです。宮古と大槌の写真公開・返却受付、(大槌町)菜の花プロジェクトの草取り、瓦礫の撤去、土起こしの活動に従事していただきます。

■ キャンプ内の清掃に汗流す ■

- きょう、キャンプ内の清掃ボランティアを募ったところ、6 名のかわボラさんからご協力をいただきました。
- 廊下、階段、宿泊室、シャワー室、特に食堂やトイレは、時節柄念入りに行っていました。キャンプでは、定期的に内勤ボランティアを募って、清潔なキャンプづくりに努めています。



■ かわいキャンプに TV ロケ入る ■

- 8/12 早朝から、全国 TV 放送のロケ班が入りました。内閣府の提供による震災復興支援番組「希望一直線」第 1 回の収録で、キャンプの朝食、スタッフ会議、オリエンテーション、かわボラさん出発などの風景、山田町での活動の様子に加えて、インタビューに意欲的に答えるスタッフ N やかわボラ Y さんも登場します。
- まだ、TV 慣れしていないキャンプのスタッフにとって慌ただしい 1 日となりました。
- OA は、めんこい TV 8/20(土) 11:40。お見逃しのないように。



盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000

盛岡市かわいキャンプ 0193-76-2005



キャンプ利用状況 (8月17日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 1,238 名 *8/16 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
86	41	54	53	31	45	88	81	38	41

このところ、個人ボランティアの宿泊利用者さんは 40 名～50 名で推移しています。団体さんが入ると 80 名を超えます。団体さんの場合は、キャンプ内や活動場所でリーダーさんがしっかりとまとめてくれていますので、キャンプとしても心強いものがあります。

■ ワカモノチカラ プロジェクト ■

- きノウ、NPO 法人生涯学習サポート兵庫さん募集の災害支援学生ボランティア事業「ワカモノチカラ プロジェクト」のメンバーがキャンプに入りました。16 歳から 25 歳までの 42 名（他に同法人引率者 3 名）が、4 泊 5 日（うち車中 2 泊）の日程で、菜の花プロジェクト（大槌町）やサロン活動（宮古市）などに参加します。



- このプロジェクトのメンバーは、事前研修を積んで参加されており、地元に帰ってからはさらに事後研修を行うなど、学生自らが災害支援で動ける組織づくりができる人材を育成することが目的。キャンプへの参加は、NPO 法人シーズ加古川さんの斡旋によるものです。

■ 子供たちに「夜のサロン」を!! ■

- 被災地の子供たちに「夜のサロン」をと、手持ち花火を中心とした子供用の花火の寄附を呼び掛けていたところ、市民の生さん、キャンプ協力団体さんです。ありがとうございます。
- 被災地ボランティアセンターが楽しめるようなイベント



方や民間事業所さん、キャンプ卒業などから花火が続々と集まってい

と打ち合わせをし、今月中に子供たの中で提供したいと思っております。

リポートかわいキャンプ

2011. 8.19

第 16 号

盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (8月19日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 1,364 名 *8/18 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
57	54	32	46	89	82	39	42	62	11

- ・ 日帰り参加でもキャンプは大歓迎です。その場合は、当日活動される方全員による朝のミーティングに参加していただくために、予約の上遅くとも 7:30 までのキャンプインが必要です。
- ・ 盛岡地区広域行政組合の消防士さん約 70 名の皆さんは、8 月 5 日から 31 日まで、休暇を利用しながら日帰りでの活動に参加しています。

■ キャンプ利用者さんの投書から ■

- 8/18 付けの地元紙の声の欄に「ボランティア支援継続誓う」という見出しで、キャンプに日帰りで参加された盛岡市民の方からの投書がありました。日帰りで仕事量も限られるが、継続して参加することを心に誓ったこと、遠方から宿泊参加されているボランティアさんに対するいたわりの思い、そして「私のような者でも取りこぼさず仲間に入れてくださるボランティアの世話役の方々に感謝です」とおっしゃっています。この声に、スタッフも大きな元気をもらいました。

■ ありがとうございます!! ■

- キャンプの卒業生さんや留学中(?)のボランティアさんから、これまでたくさんのご寄附をいただいております。いずれも、キャンプ生活や活動の中で必要なものばかりです。



- 洗濯機・乾燥機、タープ、雨具、清涼飲料水粉末、飲料・食料品、土嚢袋、子供用の花火、絵本、菓子…。たくさんの方がキャンプを気にかけていただいていることに感謝します。

盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000

盛岡市かわいキャンプ 0193-76-2005

リポートかわいキャンプ

2011.8.21
第17号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (8月21日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 1,477 名 *8/20 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
39	55	99	84	43	46	69	15	18	66

残暑お見舞い申し上げます

岩手の復興支援のため「盛岡市かわいキャンプ」をご利用いただいているボランティアの皆さん ご苦労さまです
お盆も過ぎ涼しくはなりましたが、油断することなく健康には十分留意され、支援活動にご協力いただきますようお願いいたします

2011.8

盛岡市かわいキャンプスタッフ一同



盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ 0193-76-2005

リポートかわいキャンプ

2011. 8.22
第 18 号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (8月22日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 1,517 名 *8/21 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
55	96	90	51	54	74	16	22	70	65

・ 明日 8/23 のキャンプは、100 人近い参加が見込まれます。ボランティアプラットホームさん 42 名が入営されるなど、キャンプは一段と活気を呈します。

■ 和歌山の高校生、大槌町で活躍 ■

- 8/19 から 8/21 まで、和歌山県新宮市の学生災害ボランティアバス実行委員会の企画に参加した同県内の高校生さんがキャンプにやってきました。一行 15 名は、大槌町ボラセンの鮭プロジェクトに参加し、地元の県立大槌高校の生徒さんとともに、鮭が遡上する大槌川の再生のため、元気いっぱい河川敷の瓦礫や流木の清掃、草刈りなどの作業を行いました。



■ キャンプ利用者さんからの声 ■

- 約 2 週間にわたり、キャンプに滞在し活動された Y さん(茨城県)から寄せられた「思い」が、地元紙の声の欄に掲載されました。8/1 に盛岡市社協が、かわボラさんの慰労のため「盛岡さんさ踊り」の観覧に招待した際に、隣り合わせた宮古市田老の子供の情景を通して様々な人たちの温かい気持ちを確認することができたと言っています。
- キャンプでは、今後もかわボラさんが地域の風情や人情にも触れていただく機会をつくりたいと思っています。

盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ 0193-76-2005

リポートかわいキャンプ

2011.8.25
第 19 号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (8月25日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 1,761 名 *8/24 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
55	56	74	22	34	81	72	18	57	55

- ・ キャンプは共同生活です。宿泊室や調理室、シャワー室の利用においては、譲り合いと自制心が大切なことは言うまでもありません。
- ・ 最近、安全靴やインソール（鉄板中敷き）を持参しない方が増えています。ボランティアにとって屋外での作業には、この装備は常識です。現地ボラセンに行って確認されることのないよう注意したいものです。なお、キャンプでは、各サイズのインソールをそろえて貸出しをしています。

■ ボランティアプラットホーム さん ごくろうさまです ■

- NGO ボランティアプラットホームさん(東京都)企画のボランティアさんが、8/6 から9/1 まで、1 泊または2泊の予定で総勢 185 名がキャンプに入っています。キャンプでは、山田町や大槌町の瓦撤去や泥出し、河川敷きの整備、お墓の整地作業などの活動をマッチングさせています。寝食を共にすることで、活動を終えて帰る頃には仲間としての絆が深まってきます。



■ 日赤さんから AED 届く ■

- これまで、かわボラさんのキャンプ滞在生活の支援のため、生活家電等を届けていただいた日赤さんから、AED3 台（うち 1 台は収納箱付きの立派なものです）をご寄贈いただきました。1 台はキャンプの玄関先に設置し、2 台は活動する際に持参することとしております。
- ボランティア活動は自己責任、自己完結が原則ですが、キャンプの運営者としてキャンプを利用するボランティアさんへの健康上、衛生上の最低限の配慮は必要です。



盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000

盛岡市かわいキャンプ 0193-76-2005

リポートかわいキャンプ

2011. 8.27
第 20 号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (8月27日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 1,872 名 *8/26 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/27	28	29	30	31	9/1	2	3	4	5
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
71	24	36	79	73	20	63	63	44	38

■ キャンプに秋の気配 ■

- きょうは、朝から残暑が戻ってきたような日差しが照りつけています。現地で活動するかわボラさんには、頑張りすぎないように注意が必要です。それでも、川井の朝夕はめっきり涼しくなり、自然の懷に抱かれたキャンプでは、周囲の山々や川、畑、たんぼ、道端の草花、虫の声、また風や空の色まで秋の気配を楽しむことができます。
- 少し早起きをしてキャンプ備え付きの自転車で散策してみてもいいかもしれません。



閉伊川（へいがわ）





キャンプ利用状況 (8月29日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 1,969 名 *8/28 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

8/29	30	31	9/1	2	3	4	5	6	7
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
36	67	62	22	66	66	46	41	41	14

- ・きのうの宿泊利用者さんは 20 名台となり、久し振りに夕、朝の賑やかさも落ち着いています。
- ・きょうは、キャンプ内外の清掃や冷蔵庫、持ち主不明の飲・食料品や物品などの整理をします。

■ 仮設住宅のサロン活動 ■

- 現在、宮古市災害ボランティアセンターとのマッチングで、かわボラさんは市内 3カ所の仮設住宅の集会所に毎日 2 名 1 組で出掛けています。集会所でのイベントがない日は、ボランティアさんの腕の見せ所ですが、苦勞も大きいところです。チラシを持って一戸一戸訪問するなど、様々な工夫や働きかけをしながら、お住いになっている方々のお話を伺い、交流を図っています。
- きのは、隣接の養護老人ホーム/清寿荘内の部屋を利用させていただき、押し花制作体験会が行われました。この催しは、かわボラの M さんの積極的な働きかけと講師 3 名の方の大きなご協力で実現したもので、施設の利用者さんを含め 30 名の方が参加しました。
- 盛岡市社会福祉協議会としても、地域づくり推進員 2 名とサロンコーディネーターを宮古の仮設住宅に派遣し、地元の民生委員さんなど世話役さんと連携しながらサロン活動を行う準備を進めています。

